

赤色防虫ネットの利用効果

(平成30年度国産花きイノベーション推進事業)

青森県内のトルコギキョウ9月出荷栽培において、赤色防虫ネットの実証を行ったところ、アザミウマ類やアブラムシ類の栽培ハウスへの侵入に、95%以上の抑制効果があることが分かりました。



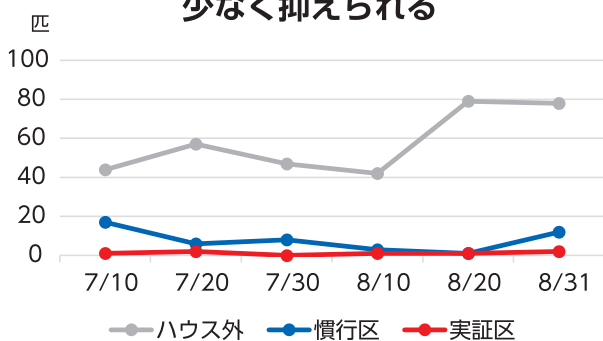
ミカンキイロアザミウマ



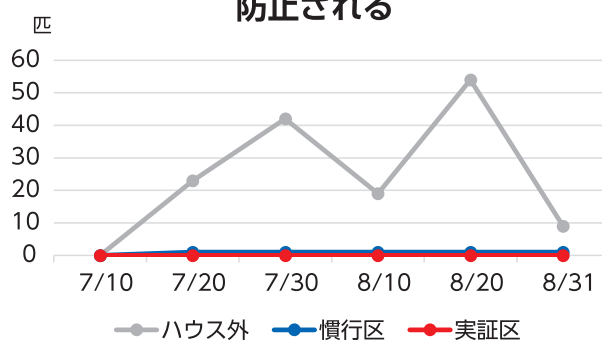
アブラムシ類

【実証結果の概要】

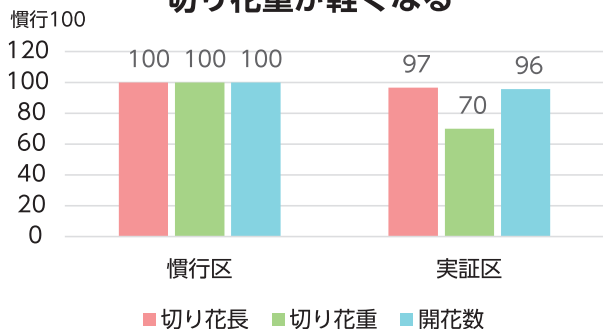
アザミウマ類のハウスへの侵入が少なく抑えられる



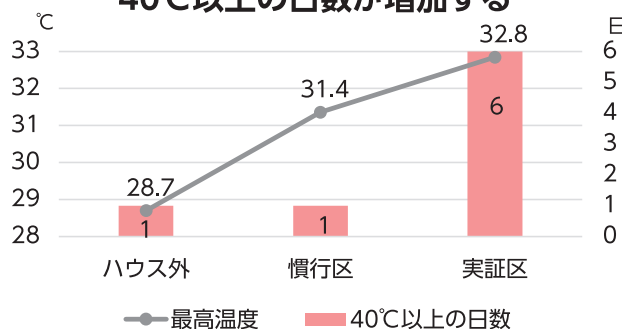
アブラムシ類のハウスへの侵入が防止される



切り花長と開花数は変わらないが、切り花重が軽くなる



最高温度が上昇し、40℃以上の日数が増加する



実証区：0.6mm目合いの赤色防虫ネットをツマ面とサイドに展張（80坪パイプハウス）

慣行区：4mm目合いの白色防虫ネットをツマ面とサイドに展張（70坪パイプハウス）

耕種概要

【実証年】2018年、【実証場所】青森県三戸町（現地）、【品目】トルコギキョウ、【品種】プライムホワイト、【定植日】実証区5月15日、慣行区5月5日、【施肥】基肥：無施用、追肥：硝酸石灰0.38kg/a/回、実証区3回（6/5、6/17、6/23）、慣行区4回（5/24、5/28、6/4、6/14）、【温度計測期間】7月5日～8月31日、【収穫期間】実証区8月19日～8月25日、慣行区8月23日～8月31日、【収穫物調査】実証区8月23日、慣行区8月27日

(使用上の留意点)

- 赤色防虫ネットを利用する時は、目合いが小さく通風が悪くなるため、ハウス内の温度が上昇しやすくなります。温度上昇時には、換気扇や循環扇等を利用しましょう。
- ネットだけで害虫の侵入を完全に阻止することは難しいので、他の防除方法や害虫の発生源となる施設周辺雑草の除去などと併用し、耕種的防除の効果を高めましょう。
- すでに侵入した害虫には効果が期待できないので、化学農薬の散布等の対策も行いましょう。
- ネットが破損すると、その部位から害虫が侵入しますので、定期的に保守点検を行いましょう。



【豆知識】 虫は赤色が暗く見える？

赤色防虫ネットは、赤色により光の波長がある程度制限され、アザミウマ類などの微小害虫には黒っぽい膜を張っているように見えて内部が確認できず、侵入しづらいのではないかと考えられています。

(参考)

防虫ネットは、ハウス栽培のサイドや天窗部、谷部などの開口部やトンネル栽培の被覆資材として、害虫の侵入防止対策に利用されています。

ネットの目合い（編み目の大きさ）によって侵入を抑制できる害虫が変わります。極細糸を使用した小さい目合いのネットでは、コナジラミ類等の防除にも効果があります。

夏秋いちごの栽培ハウスにおいては、側窓の開口部の下半分に光反射資材織り込みネットを設置することにより、アザミウマ類の侵入を半分以下に抑制できることを、(地独)青森県産業技術センター野菜研究所が確認しています。

防虫ネットの目合いと有効な害虫類

目合い	害虫名
0.4mm以下	アザミウマ類、コナジラミ類
0.6mm	ハモグリバエ類
0.8mm	アブラムシ類
1mm	キノコバエ、コナガ
2mm	シロイチモジヨトウ
4mm	ヨトウガ、ハスモンヨトウ
不織布 (べた掛け)	コナガ、ヨトウガ、アブラムシ類、 アザミウマ類、ハモグリバエ類、 キスジノミハムシ

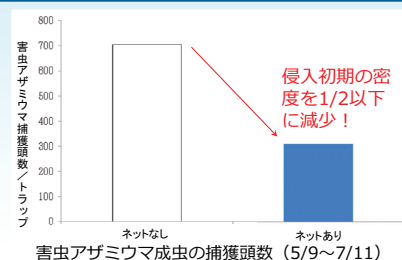
福岡県「平成31年度版病害虫・雑草防除の手引き(IPMの推進)」より

ハウスへの侵入を減らす



Aomori Prefectural Industrial Technology Research Center
地方独立行政法人 青森県産業技術センター

光反射資材織り込みネットの効果



Aomori Prefectural Industrial Technology Research Center
地方独立行政法人 青森県産業技術センター